

科目名	地域施設計画論	英語科目名	Community Facilities Planning		
開講年度・学期	平成26年度・後期	対象学科・専攻・学年	複合工学専攻(建築学コース)2年		
授業形態	講義	必修 or 選択	選択		
単位数	2単位	単位種類	学修単位(15+30)h		
担当教員	尾立弘史	居室(もしくは所属)	建築学科棟2階		
電話	0285-20-2835	E-mail	oryu@oyama-ct.ac.jp		
授業の到達目標			授業達成目標との対応		
1、地域のコミュニティ施設の配置方式が説明できる。 2、コミュニティ施設の代表である集会所施設の計画方法を説明できる。			小山高専の 教育方針	学習・教育到達 目標(JABEE)	JABEE 基準
			③④	A	d-1 g
各到達目標に対する達成度の具体的な評価方法					
各テーマの理解度とその発表内容を総合評価し、60%以上の得点で達成とみなす。					
評価方法					
評価は各テーマに対する発表内容(60%)と随時提出させるレポートの内容(40%)により評価する。					
授業内容		授業内容に対する自学自習項目		自学自習時間	
1. 地域施設計画とは		地域施設体系の復習		4	
2. 地域施設の配置方式、規模算定		講義内容の復習及び課題のレポート作成		4	
3. 集会所関連施設の種類の		同上		4	
4. 農村の集落レベルの集会所計画-1 (環境調査)		同上		4	
5. 農村の集落レベルの集会所計画-2		同上		4	
6. 農村の集落レベルの集会所計画-3		同上		4	
7. 農村の集落レベルの集会所計画-4		同上		4	
8. 農村の集落レベルの集会所計画-5		同上		4	
9. 市町村レベルの集会所計画-1 (農産加工施設の併設、黒磯市)		同上		4	
10. 市町村レベルの集会所計画-2 (トレーニングルームの併設)		同上		4	
11. 市町村レベルの集会所計画-3 (トレーニングルームが中心となる、明野町)		同上		4	
12. 市町村レベルの集会所計画-4 (漁協の併設、島の実例、三宅島)		同上		4	
13. 市町村レベルの集会所計画-5 (農協の併設、川西町)		同上		4	
14. 市町村レベルの集会所計画-6 (トレーニングルーム(柔道場)の併設、大里)		同上		4	
15. コミュニティ施設(集会所計画)のまとめ		同上		4	
				自学自習時間合計	
				60	
キーワード	地域、生活圏、コミュニティ、農村地域、機能、規模、配置				
教科書	特になし。必要に応じ随時プリント等を配布。				
参考書	図説集会所づくり				
カリキュラム中の位置づけ					
前年度までの関連科目	建築計画Ⅰ、建築計画Ⅱ、建築計画Ⅲ、福祉住環境、空間計画原論				
現学年の関連科目	まちづくり論、地域設計1				
次年度以降の関連科目	居住地計画論、バリアフリー・デザイン論、文化財保存論				
連絡事項					
シラバス作成年月日					
平成26年2月28日					